

平成27年度国立大雪青少年交流の家教育事業・「体験の風をおこそう」運動推進事業計画一覧

No.	事業種	事業名	継続年数	事業の目的	事業内容	期間	対象	募集人数(人)	備考
1	教育事業 (看板事業)	「登山指導者研修会」	5	○学校をはじめとする集団登山を安全に実施するために必要な知識と技術を身につける。 ○登山をとおして、自然の恩恵に気づかせるための指導法について理解する。 ○火山災害に対する防災教育の指導法を学ぶ。	○登山の技術 ○事前、本番、事後の一連の安全対策	H.27.6.27(土)～28(日)	教育関係者 青少年教育の指導者を旨指す者(18歳以上)	20 (先着順)	
2	教育事業 (モデル事業)	「ワイルドライフキャンプ2015」	2	○「新・機構元気プラン」(平成26年6月提示)を踏まえた体験重視の内容とする。 ○先導的なプログラム開発事業とする。	○現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上を目指す ○問題発見や問題解決能力の育成を目指す ○思考や理解の基盤づくりを目指す ○自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得を目指す ○社会性や共に生きる力の育成を目指す	H27.8.3(月)～10(月)	小学校3～6年生、中学生	20 (先着順)	
3	教育事業 (指導者養成事業)	「公立施設支援事業」	4	○青少年教育施設職員に求められる資質・能力を高める。	○青少年の現状と課題、青少年教育施設の意義と役割などについて理解を深める。	H.27.4.25(土)～26(日)	教育関係者 青少年教育の指導者を旨指す者(18歳以上) 大学生、一般	25	道青教協との連携
4		「ゆーすびあ・ボランティア塾」	8	○ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について講義、演習、実習をとおして習得する。 ○青年層の自立を促し、生きがいを見出し生き抜き力を磨く契機とする。	○青少年教育への期待 ○子供の発達心理 ○集団活動と豊かな心の育成の関係 ○自然体験活動と安全 ○野外の遊び ○野外調理 ○救命救急 ○先輩ボランティアから学ぶ	【基本編】 ①H27.5.16(土)～17(日) 【応用編】 ②H27.10.3(土)～4(日)	高校生、大学生、専門学校生、勤労青年	各20	重点推進
5		「教員免許状更新講習」	2	○学習指導要領における体験活動の取扱いを理解する。 ○教員自らが体験活動を行うことで、安全に配慮した指導法と技術を身につける。	○学校教育の現状と課題 ○学校教育における体験活動の意義と効果 ○体験活動と安全管理	H27.8.1(土)～3(月)	該当する教諭 ※終了確認期限H.28.3.31～ H29.3.31	20 (先着順)	
6		「自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業」	1	○青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる指導者を養成する。	○青少年教育における体験活動 ○学校教育における体験活動 ○指導者理解 ○自然体験活動の指導 ○自然体験活動の技術 ○自然体験活動の安全管理 ○自然体験活動の企画・運営	H.27.9.19(土)～21(月)	青少年教育関係者、学校教育関係者、自然体験かす銅に興味・関心のある方(18歳以上)	30 (先着順)	秋山(講習管理者)
7		「北海道 体験活動指導者セミナー」	6	○北海道の自然や伝統文化を有効活用した体験活動の指導法とその技術を身につける。 ○学校教育における体験活動の意義について理解し、教育課程との関連性について学ぶ。	○学校教育における体験活動の意義 ○教育課程と体験活動の関連性 ○体験活動の指導法 ○安全管理	H.27.10.10(土)～12(月)	教育関係者 青少年教育の指導者を旨指す者(18歳以上) 大学生、一般	20	ネイバル深川との連携 日高青少年自然の家との共催 H26は日高会場 H27は大雪会場
8		「教職員を対象とした長期休業中における校外研修」	3	○本道の児童生徒に必要とされる「体験活動の機会」、「良好な人間関係」、「望ましい生活習慣」、「読書活動の重要性」の観点から教育現場で活用できるプログラムを提供する。	○体験活動の機会 ○良好な人間関係 ○望ましい生活習慣 ○読書活動の重要性	児童生徒の長期休業期間	教育関係者	5	
9	教育事業 (国際交流事業)	「ユース オブ ワールド 2015」	2	○日本と諸外国の青年が様々な体験活動をおとして交流する。 ○自国や他国の文化と伝統を理解し、協調しながら生きていくために必要なグローバルな資質を備えた人材を育成する。	○自然体験 ○生活体験 ○文化体験 ○グローバルアクションプラン	H27.8.12(水)～15(土)	留学生 日本の青年	20 (日本と外国の青年各10)	文科省委託事業に申請
10		「国際理解度」調査	2/3	○日本と諸外国の青年との交流の機会をおとして、国際理解に関する実態調査から事業の効果を測定、検証する。	○調査対象 国際交流事業参加者(日本人、外国人) ○調査方法 量的調査(事前、事後) 質的調査(事後) ○測定尺度 国際理解測定尺度の活用 項目の抽出と修正	事業実施日から年度内	事業参加者	20	
11	教育事業 (児童養護施設等支援事業)	「体験の風キャンプ in ゆーすびあ」	2	○道内の児童養護施設等の子供を対象に、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につながる多様な体験活動を提供して、その成果を広く周知することを通して、各施設の取組を促進する。	○生活文化体験 ○自然体験 ○体力作り ○調理体験	3月以降調整	①旭川青児院(旭川市) ②富良野国の子寮(富良野市) ③美深育成園(美深町)	30	
12	子どもゆめ基金 体験の風 リレーションシップ 事業	子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「ゆーすフェスタ2015」	5	○教育資源を活かした体験プログラムを地域と協働で提供することによって、世代や地域を超えた多様な「交流」の場を創造する。 ○より多くの国民に施設の取組と機能をPRし、新規団体の拡充につなげる。 ○「新しい公共」型の運営方針から、様々な外部との連携による運営のあり方を確立する。	テーマ「キテ・ミテ・ハッケン!大雪タイケンの祭典」 ○普及啓発・パフォーマンス部門 ○自然体験部門 ○体験活動部門 ○仕事体験部門 ○物販部門 ○展示部門	H27.10.4(日)	一般	1,100	
13		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「びえい冒険キッズ」	1	○美瑛町公民館や民間企業等と協働開催し、地域の様々な資源を活用したプログラムを実施する。 ○地域の子供たちの実態や学校における教育課題等を捉えた体験機会の提供をおとして、日常生活の中で自ら多様な体験活動に取り組む意欲を高める。	○企画・運営の支援と協力 ○会場提供 ○指導者派遣 ○施設ボランティア派遣	H27.10.17(土)～18(日)	小学校1～3年生	20	【プログラム支援の観点】 体験活動の機会 良好な人間関係 望ましい生活習慣 読書運動の推進 体力向上の推進
14		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「白金カップクロスカントリースキー記録会」	7	○記録会をおとして、冬季の健康・体力の増進を図るとともに、参加者の交流を深める。 ○整備された特設コースを活用して、クロスカントリースキー選手の基礎体力向上を図るとともに、チューンナップの技術を高め、競技力を高める。	○スポーツをおとした交流会 ○チューンナップ講習会 ○記録会	H27.12.5(土)～12.6(日)	個人及び団体参加	300	
15		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「大雪冬のレクスポートの祭典」	4	○冬の体力向上や生活リズムの大切さについて理解する。 ○異年齢の集団遊びをおとして、友だちとの関わり方や集団遊びの楽しさを醸成する。	○雪原散策と自然観察 ○早寝早起き朝ごはん体操	H28.2.20(土)～2.21(日)	一般	100	
16		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「子供クロスカントリースキー教室」	4	○スキーを活用した野外活動をおとして、身近な冬の自然に親しみ態度を養う。 ○冬の体力向上や生活リズムの大切さについて理解する。 ○異年齢の集団遊びをおとして、友だちとの関わり方や集団遊びの楽しさを醸成する。	○スキー基本講習 ○レクリエーションによる交流会 ○宿泊体験 ○早寝早起き朝ごはん体操	H28.2.20(土)～2.21(日)	美瑛町及び近隣市町村の小学生	50	
17		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「子どもゆめ基金説明会」	2	○民間団体が実施する子供の体験活動や読書活動等支援基金の申請方法に関する説明及び相談機会を提供し、申請団体の拡充を目指す。また、基金を活用して交流の家の利用促進を図る。	○子どもゆめ基金概要説明 ○申請方法 ○プログラム相談	①H.27.10.4(日)大雪会場 ②H.27.10.9(金)網走会場 ③H.27.10.14(水)札幌会場 ④H.27.10.29(木)函館会場	青少年の健全育成の推進を目的として活動している民間団体など	各20団体	旭川地区私立幼稚園協会総会 旭川市保育所協議会

No.	事業種	事業名	継続年数	事業の目的	事業内容	期間	対象	募集人数(人)	備考
18	美瑛町連携促進事業	幼稚園・保育所「早寝・早起き・朝ごはん」プロジェクト	2	□子供たちの生活リズムが向上し、基本的な生活習慣を身につけるために、幼児期段階から普及啓発を展開する。	○関係機関及び団体が主催・共催する事業等への参画	通年	幼・保育園児・保護者		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
19		子育て支援プロジェクト	2	□乳幼児を持つ親子を対象に、望ましい生活習慣、手軽に実践できる運動事例など、親同士の交流を重視したプログラムを提供する。		通年	町民		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
20		学校支援プロジェクト	2	□各学校に定期的に情報提供を行い、学校経営上必要な支援を行うとともに、定期的な情報交換をとおして学校連携を図る。(スキー、校外研修、人間関係づくり等)		通年	児童・生徒・教職員		美瑛町教育委員会、小・中・高等学校
21		子供水泳教室プロジェクト	2	□交流の家が所有する温水プールを美瑛町の子供たちに提供する。 □水と親しむことをとおして、泳法技術と泳力を培い、水泳の楽しさを味わう。		夏季・秋季・冬季	小学生		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
22		大人水泳教室プロジェクト	2	□交流の家が所有する温水プールを美瑛町民に提供する。 □町内の成人を対象に、冬期間の運動不足解消とともに、健康増進及び風邪罹患対策として実施する。		冬季	町民		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
23		すずらん大学支援プロジェクト	2	□美瑛町教委所管高齢者学級会員向けに、健康維持及び体力向上のためのプログラムを提供する。 □高齢者に多様な学習機会を提供するとともに、交流やふれあい活動を行う。 □職員の持つ「一芸」プログラムの提供をとおして学びの楽しさを体験する機会とする。		通年	すずらん大学加入者		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
24		美瑛町地域活性化プロジェクト	2	□美瑛町の活性化事業に参画するとともに、白金地区の民間企業等と協働し、景観美化や安全対策を重視した環境整備を行い、活性化の一翼を担う。		通年	美瑛町		美瑛白金温泉観光組合
25	地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業	「体験の風をおこそう」運動協賛事業 北海道児童養護施設協議会・札幌市児童養護施設協議会連携プロジェクト	1	(1)道内4ブロックの児童養護施設職員を対象とした生活体験や自然体験、遊び体験プログラムの紹介 (2)活動の際の安全管理・危機管理研修を通じた運営基盤の強化 (3)剣道などのスポーツ交流大会や交流イベント等の体験活動の充実 (4)長期休業期間中の生活習慣、体験活動、読書活動、学習(語学)活動の支援・協力	○関係機関及び団体が主催する事業等への参画	通年	道内の児童養護施設職員及び幼児、児童、生徒		全国児童養護施設協議会 北海道児童養護施設協議会 札幌市児童養護施設協議会
26		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 健康・体力向上応援プロジェクト	1	□体験活動チャレンジアスリート事業(冒険キッズ兼)交流の家プールを利用して、「体験の風応援サポーター」の柴田重衣氏等のトップアスリートの協力を得て、子供たちがスポーツの楽しさや体験することの喜びを体得する。また、PTAや企業等と協力して子供の成長にとって発達段階に応じた体験活動がいかに重要なかを学ぶ機会とする。 □北海道教育推進計画(改訂版)と運動し、継続的なスポーツ・運動・外遊び体験を奨励する。		通年	道民		北海道教育委員会 地域のスポーツクラブ、スイミングスクール 他
27		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 生活リズム向上応援プロジェクト	1	□北海道体験活動フォーラムの開催 「早寝早起き朝ごはん」運動、「体験の風をおこそう」運動などのフォーラムの開催 (1)ブロックの分類:道南・道央・道北・道東 (2)連携先:P T A連合会・北海道教育委員会・北海道教育庁各教育局・報道機関・医療機関・企業等 (3)テーマ:(仮)生活習慣の定着と体験活動 (4)平成27年度:道北(上川管内)、道東(十勝管内) □北海道内市町村が取組む生活リズム改善のための事業に参画し、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の趣旨に則した様々な普及啓発活動を実施する。		10月	道民		北海道教育委員会 私立幼稚園協会
28		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 北海道「体験の風をおこそう」運動推進委員養成プロジェクト	1	□北海道「体験の風をおこそう」運動推進員養成研修会の実施 (1)「新・機構元気プラン」の具現化のための人材育成カリキュラム作成 (2)単位修得者は、北海道青少年教育施設協議会会長名で北海道「体験の風をおこそう」運動推進員に認定し委嘱 (3)履修者は、講習管理者となり、体験活動の普及拡大を図るとともに推進員を育成		通年	施設職員・保護者・ボランティア 青少年団体職員		
29		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 土曜学習支援活動プロジェクト	2	土曜学習を行っている自治体(道内36自治体)の体験活動プログラムの支援協力		通年	小学生		北海道教育委員会
30		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 次世代リーダー層発掘プロジェクト	2	ケーブルテレビやラジオ局などのメディアと連携して次世代青少年リーダー層を発掘する。また、体験活動の重要性を普及し、活動の場となる青少年教育施設の利用促進を図る。		通年	道民		道内主事会 他
31		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 読書推進応援プロジェクト	3	□「第3回北海道子ども遊び体験&ブックフェスティバル」の実施 青少年の体験活動や読書活動を奨励するため公共図書館や読書グループが主催する「祭り」や「つどい」等と共催し、読書に慣れ親しむ体験プログラムを提供する。 (オホーツク管内:遠軽町、十勝管内:上士幌町(子どもと本)、石狩管内:石狩市 ※美瑛町 他)		通年 ※重点: 4月23日 子ども読書の日 4月23日～5月12日 子どもの読書週間 10月27日～11月9日 読書週間	道民		公共図書館、読書団体 他
32		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 協議会運動普及プロジェクト	3	□体験活動や生活リズム向上のための普及講演等の実施(H27:道内10カ所程度) 体験の風をおこそう運動推進委員会の構成組織である子ども会・スポーツ少年団・児童養護施設・PTA・スポーツ推進委員の会議や研修会の機会を活用した「体験の風をおこそう」運動の普及並びに研修支援を行い、社会総ぐるみで子供たちの体験機会の充実を図る。 □北海道青少年教育施設スタンプラリーパスポート 現在、北海道青少年教育施設協議会(加盟17施設)で発行しているパスポートを北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会と連名にした普及の広域拡大を図る。 □体験活動普及カレンダー 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会及び北海道教育委員会等と協働した普及カレンダーを作成(3,000部程度)		通年 (カレンダーは11月発送)	道民		
33		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 北海道「体験の風をおこそう」運動推進プロジェクト	4	□北海道「体験の風をおこそう」運動推進期間の設定及び事業エントリーの推進 北海道「体験の風をおこそう」運動推進委員と協力し、以下の運動の推進を図る。 (1)期間:平成27年9月1日(火)～11月30日(月)までの3ヶ月間 (2)普及:(7)各種事業案内チラシや広報物に「体験の風をおこそう運動協賛事業」の冠 (イ)各種媒体に「タイジャー」などのイメージイラストを付す (ウ)美瑛町役場壁面に懸垂幕設置 (エ)各機関・団体の研修機会を活用して、体験チラシ等の説明・普及 (3)エントリー: (7)事業エントリー 450事業(H26 446事業)※9月～11月 (イ)市町村数 179全市町村(H26 179市町村)※9月～11月 (ウ)遊びリンピックエントリー 150事業(H26 130事業)※10月 (4)展望: ア.市町村エントリー: (7)H27全市町村 450事業 (イ)H28全市町村 470事業 (ウ)H29全市町村 500事業 イ.遊びリンピックエントリー: (7)H27 60市町村 (イ)H28 120市町村 (ウ)H29 179全市町村 □北海道内で展開される青少年の体験をメインとしたイベントに参画し、「体験の風をおこそう」運動の普及啓発を推進する。		通年 ※重点:9月～11月	道民		北海道青少年教育施設協議会